

# 治五右衛門とアートな時間 in 神楽坂・光鱗亭ギャラリー

十六代 小原治五右衛門 × Yoshiko"yoppi"

治五右衛門 News Letter Vol.05



毎年、5月の城端曳山祭や展覧会が終わると制作に集中するため、城端の工房にもっています。今年の7月は2週間一步も外出することなく工房で過ごしていました。「ハレ」の日のあとに「ケ」の日常があり、「ケ」の日常があり「ハレ」の日を迎えます。希望を持って1日が始まり、感謝と共に1日が終わります。

城端から11,000キロ離れたニューヨークに住んでいる友人ともスマートフォンで簡単に連絡を取ることができる時代です。しかし、簡単に連絡ができるからとか、近くに住んでいるからというだけで心が通うわけではなく、いつの時代も人と人の繋がりや、住んでいる距離や時差に関係なく、心の距離であると感じます。「じごちゃん！今年の夏も日本に行くから城端蒔絵450周年に向けて何かイベントをしようよ！」と言って、神楽坂の光鱗亭ギャラリーさんを紹介してくれた歌手・Yoshiko"yoppi"も僕の大切な友人の一人です。漆藝家と歌手という表現方法は異なりますが、生きる上で大切にしていることや表現者として共通することが多くあります。感性が近いのかもしれませんが。私は意匠考案・髹漆・蒔絵を一貫して行いますが、yoppiもまた作詞・作曲・歌うこととピアノの演奏を一貫して行います。作品が生まれるまでには表面だけでは見えない一層一層を丁寧に積み重ねる工程と時間があり、自分だけで完成するのではなく、自然やモノや人に学び支えられ、言葉にはできない気持ちを今回のトークショーとコンサートに込めたような気がします。

昨年は地元城端で2度のフォーラムを開催しましたが、東京では法人設立後初めてのイベント開催でした。お知らせから1週間で満員御礼となり、国内外からこの日のためにご参加いただいた皆様と城端の藝術文化を語りながら、城端麦酒やANGO安居のスイーツもお楽しみいただき大好評でした。「治五右衛門とアートな時間をまた開催して欲しい」「城端に行きたいです」と嬉しいお言葉を頂戴しております。目に見えない価値を共有し、大事なものは変わらずに変わり続ける「脱皮と深化」を、皆様と楽しむことができれば幸いです。ご臨席を賜りました、城端蒔絵愛好家の皆様、ファウンディングメンバー・サポーター会員の皆様、応援して下さる皆様、多大なるご支援ご協力を賜りました神楽坂・光鱗亭ギャラリー様、Yoshiko"yoppi"はじめ親友たち、全ての皆様に感謝申し上げます。

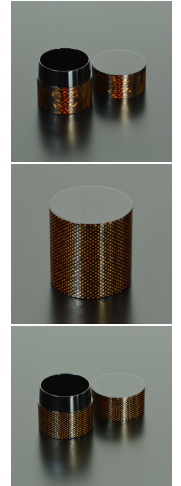
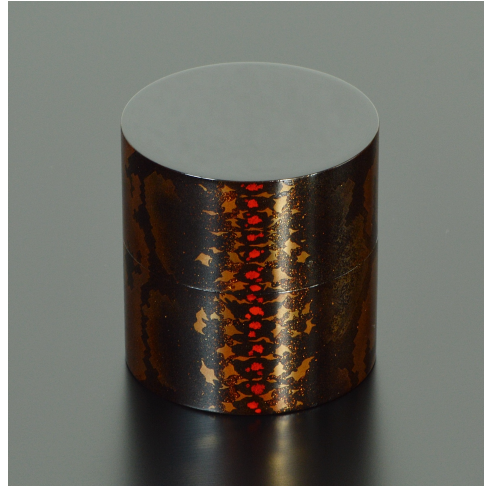
十六代 小原治五右衛門

## 治五右衛門塗「曙光 - Python VIII」

十六代 小原治五右衛門  
OHARA Jigoemon XVI (b. 1979)

Python VIII, 2024  
Nakatsugi style urushi tea caddy; Jigoemon-nuri  
h. 2 43/64 x dia. 2 41/64 in. (6.8 x 6.7 cm)  
第63回 日本伝統工芸富山展 富山県知事賞 受賞作

[ Private Collection ]  
Josh Onishi, New York



## Messages from Friends

My first encounter with the Jigoemon XVI's work was the Python series, works which proved turning points in the artist's maturation. A marked departure from familiar subjects of flora and fauna found in traditional arts and crafts, instead it featured a pattern of undulating reptilian scales never before rendered in Jōhana Maki-e. With a title inspired by Nietzsche, "The snake which cannot cast its skin has to die," the work felt conceptually and in execution a consummate response to the double challenge of questioning and maintaining tradition.

I am grateful for his endeavours to continue the tradition and develop a daring signature of his own. His work will encourage the next generation that preserving tradition does not mean foregoing the contemporary.

Candice Lee

十六代 治五右衛門の作品との最初の出会いは、彼の作家活動の転機となったPythonシリーズでした。伝統工芸品によく見られる動植物を題材にした作品とは一線を画し、これまでの城端蒔絵にはない爬虫類の鱗がうねるような模様が描かれていました。「脱皮できない蛇は滅びる」というニーチェにインスパイアされたこの作品は、伝統への疑問と維持という二重の課題に対する見事な答えであると感じました。伝統を継承し、独自の斬新な表現を発展させようとする彼の努力に敬意を表します。彼の作品は伝統を守ることは現代での新たな歩みを止めることではないということを、次の世代へと伝えていくでしょう。

キャンディース・リー



## Candice Lee

Founder Asia Art Hong Kong

Candice Lee is director of Asia Art Hong Kong, an annual festival founded in 2013 (as Asia Week Hong Kong). In collaboration with experts and world-class museums, the festival's education programme presents Asian Art, from antiques to contemporary, visual to performance art.

Candice is an active member in the arts, serving on several boards: music foundation HKGNA; the Friends of the Art Museum, The Chinese University of Hong Kong; Hong Kong Arts Centre Bee; Hong Kong Ink Art Walk of Hong Kong Culture Festival. A native of Seoul, she was educated in the Netherlands where she worked in Global Private Banking for over 13 years. She currently resides in Hong Kong and Amsterdam.

<https://www.asiaarthongkong.com>



## OHARA Jigoemon XVI

- Johana Makie -

令和6年(2024)

### 【 活動報告 】

7月8日(月) 治五右衛門 未来プロジェクト ミーティング

7月11日(木) Instagram LIVE配信 #1

7月17日(水) 理事会

7月18日(木) Instagram LIVE配信 #2

7月25日(木) Instagram LIVE配信 #3

7月26日(金) 理事会

7月28日(日) 理事会

7月30日(火) 神楽坂・光鱗亭ギャラリー イベント

※毎週木曜 21:00 - 21:30 Instagram LIVE 配信

令和6年度能登半島地震で被災された皆様に

心よりお見舞い申し上げます。

被災地ではまだ不安な日々をお過ごしのことと拝察いたします。

1日も早い安心の暮らしの蘇りに結ばれますよう祈念いたします。

〒939-1865 富山県南砺市城端4316-1

Tel / Fax: 0763-62-1156

E-mail: [info@jigoemon.com](mailto:info@jigoemon.com)



<https://www.jigoemon.com>